ゆりぐみ　7月

園庭に出ると「水やりしよう。」と自分から進んで水やりをする姿が見られます。畑の作物の生長を観察しながら「これまだ食べれないね。」「もう少ししたら食べれるようになるのかな？」と言っている子どもたちです。ミニトマトは、苦手な子もいますが、一口ずつ食べれると「おいしいね。」「あまい。」とうれしそうでした。これからも作物を育てて、クッキングを通して食べれることに感謝しながら食育活動をしていきたいと思っています。

ゆり1組

「船にのって、怪獣達に会いに行きたい」という一言から始まった、積み木での船作り。今回は「どんな形にするか」など話し合ってから、作り始めました。「かいじゅうたちのいるところ」の絵本の船を見ながら「旗もあるよ」「字もかいてある」とそれぞれが着目する所が違うことで、いろいろな意見が出ましたよ。帆を作るときには、不織布を切ることが少し難しかったようで、「ちょっとここ持っててくれない？」と友達に声をかけ、自然と協力し合って切っていく姿に頼もしさを感じました。「怪獣が食べるのは肉？」とお肉屋さんを開店させたり、ラキューで目や角を作って怪獣になったり、イメージを広げて繋がっていく遊びに、これから怪獣の島がどうなっていくか楽しみです。

ゆり2組

部屋では、「ゆうちゃんのみきさーしゃ」の絵本が大好きで読み込んでいるうちに「ゆうちゃんの森を作ろう。」という話が子どもたちから出てきました。積み木で木を作ったり、緑の画用紙をはさみで葉っぱの形に切り、イメージを膨らませています。また絵本に出てくる牛や猿、白熊をラキューで作って絵本の世界に入っていますよ。「牛がいるなら草がいるね。」と子どもたちで話し合いながら進めています。素敵な森が出来上がり、自分で作った動物で遊んでいます。

園庭の水遊びでは砂場で、絵本「きっさすなどーひー」のどーひー作りを楽しんでいた子ども達。「あかねの砂場も今日、水遊びたくさんしたし、つちくれ達、夜どーひー飲むんじゃない？」とイメージを膨らませ楽しんでいます。どーひーや色水で作ったジュースに石鹸を泡立てたクリームをのせ、「おいしそう！」と嬉しそうです。泡立てる感覚や泡自体に触れる感触も楽しんでいるようです。また、怪獣の島の木を絵の具で手形をとり描きました。手を洗う時の泡が色づく様子にも面白さを感じているようです。

園庭に出ると、ゆうちゃんのソフトクリームを作りたいというので、石鹸を削って泡立て器で泡立ててみることにしました。石鹸の削った量や水の量によって泡の立ち方が違うことに気付いて「もっといっぱい削ったの入れんなんね。」と言いながら頑張って石鹸を削っていた子どもたちです。色水の上に出来たソフトクリームを乗せてフロートを作ることを楽しんでいました。絵本の世界を通して子どもたち同士のイメージを共有したり、自分たちで意思の疎通を図っていけるように楽しんで遊んでいきたいと思っています。